

TPP東京高級事務レベル会合 結果概要

平成29年9月
内閣官房TPP等政府対策本部

1. 会合概要

- (1) 開催地 東京
- (2) 日程 平成29年9月21-22日
- (3) 出席者 11か国の首席交渉官クラス
(議長：梅本首席交渉官)

2. 結果概要

- (1) 今回会合では、先月のシドニー高級事務レベル会合に引き続き、5月のハノイ閣僚会合や7月の箱根高級事務レベル会合を踏まえた具体的な議論が相当進展した。
- (2) 具体的には、首席交渉官クラスの全体会合の他、3つのワーキンググループ（リーガルWG、知的財産WG、その他事項WG）で、新しい協定案の枠組みについての議論がほぼ収斂するとともに、凍結項目について各国の要望やそれについての支持の有無の整理が進むなど、各国の間で共通理解が深まった。
- (3) 我が国は、全体会合とバイ会談等を通じて、TPP11の早期発効こそが米国の早期復帰を求めていくうえで最も有効であり、11月のAPEC首脳会議でいい結果を出せるよう、スピード感を持って取り組む必要があることなどを改めて主張した。
- (4) この勢いでより一層スピード感を持って議論を継続するため、次回会合を10月に再度日本で開催することになった。